

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-2-1  
売れる農林水産品・加工品づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 農林水産総務課長 西村秀樹 電話番号 0852-22-5107

事務事業の名称	農林水産関係振興プラン等の進行管理事務		
目的	(1) 対象	生産者、生産団体、県民、市町村	
	(2) 意図	農林水産業の振興、農山漁村の活性化に向けた効果的な施策の展開及び進行管理の徹底により、持続的に発展する島根の農林水産業・農山漁村の実現を目指す。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年3月に策定した「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画第3期戦略プラン（平成28～31）」の70のプロジェクト（「農業・農村戦略プラン」35プロジェクト、「森林・林業戦略プラン」21プロジェクト、「水産戦略プラン」10プロジェクト、「分野連携・共通戦略プラン」4プロジェクト）の進行管理</li> <li>農政審議会、森林審議会及び水産振興審議会の開催</li> </ul>		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 進行管理を目的とした会議の開催回数	目標値		4.0	4.0	4.0	4.0	回
	式・定義 当該年度計画策定、中間実績、実績見込み、各審議会の開催回数/4	取組目標値						
		実績値	4.0	4.0	4.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	%
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
			達成率	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	2,680	4,528
うち一般財源 (千円)	643	2,022

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画第3期戦略プラン（平成28～31）」は、19の県プロジェクトと51の地域プロジェクトで構成されており、各プロジェクトごとに目標とする成果指標として全191項目を設定している。  
平成29年度は、県プロジェクトと地域プロジェクトが連携して取り組んだ結果、成果指標191項目の内、目標達成が108項目（57%）、目標の8割以上達成が55項目（29%）となり、本県農林水産業の着実な振興につながった。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

各プロジェクトでは、農林水産ミーティングや農・林・水の各審議会視察を通じた生産者等との意見交換を行い、その現状や課題等の把握にも努め、必要なフィードバック等を行った。  
その結果、主な成果として、農業分野では主食用米の契約的取引の更なる拡大による農家所得の確保、林業分野では原木生産量の増加による県産原木の自給率の向上、水産分野では基幹漁業の生産額の増加、分野連携では美味しませんね認証の新規認証数の右肩上がりの増加によって、農林水産物の安全・安心な供給体制の構築などに寄与した。  
また、農林水産分野における新規就業者数は、近年高水準で推移しており、農山漁村の担い手確保に寄与した。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 全191の成果指標の内、達成率が80%を下回る項目が28項目（14%）ある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 県の取組みがまだ十分でないもの、取組みの成果は徐々に出てきているが目標にまでは達成していないものなど、各プロジェクトごとに「原因」は異なる。
- ③原因を解消するための「課題」
- 各プロジェクトの課題を分析するとともに、必要に応じて推進手法を見直す。
  - 他のプロジェクトとの連携を強化する。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

第3期戦略プランでは、県プロジェクトと地域プロジェクトの連携強化に重点を置いており、各プロジェクト関係者が成功事例や課題など様々な情報を共有するための場を設けて意見交換を行いながら取組みを進めている。今後は更に、重点的なテーマに絞った議論ができるようにしていく。